



# 大山

学校だより No.6  
平成26年9月26日  
大館市立花岡中学校

『教育目標～郷土に誇りをもち、主体的・創造的に生きようとする生徒の育成』

## 全力で戦った「新人戦」！ 水泳・陸上が全県へ

「全力の2学期」の第1弾、大北新人総体が13日・14日に行われました（水泳は8月30日）。部員が少なくチームでの練習に苦勞しながら、他の部から選手を借りて単独出場した野球部。暑い夏の練習を乗り切り、出場選手全員が自己ベストを更新した陸上競技部。二中・矢中と合同での練習を重ね、チームワークを高めたバスケット部。たった一人で二中のハードな練習に参加し、力を伸ばした水泳部。そして二中の選手とペアを組んで大会に出場したテニス部。それぞれが「全力」で戦った花中最後の新人戦でした。各部への応援ありがとうございました。

標準記録を突破した水泳の伊藤翼さんは、6日に県立プールで行われた全県大会に出場しました。また、陸上では400mに出場した浪岡龍太郎さんと200mに出場した藤盛葵星さんが、27日から鹿角市で開催される全県大会に出場します。健闘を期待しています。



新人戦を終えた、各部代表の言葉です。

### 野球部主将 中村雅哉さん

ぼくたち野球部は、国際情報・成章の合同チームと戦ってきました。結果は0-13のワールドの敗退でした。しかし、練習で身に付けたことを生かすことができました。これからは、二中・矢中と合同練習をするので、基本をしっかり身に付けていけるように練習をがんばります。

### バスケットボール部副キャプテン 桜庭 萌さん

初日に国際情報学院中学校と対戦し16-71で敗れました。二日目は鷹巣中学校と対戦し、負けましたがよい試合をしました。今回の大会でディフェンス、カバー、ボックスアウトが甘いことが分かったので、これからの練習では意識してやりたいと思います。

### 陸上競技部主将 浪岡龍太郎さん

暑い夏に厳しい練習をがんばってきた結果、全員自己ベストを更新することができました。全県大会に花岡中学校というチームの名前を持って行けることがうれしいです。全県大会では、感謝の気持ちで走りたいと思います。

これから冬期間練習をがんばり、春の大会につなげ、また全県大会に行きたいです。

### テニス部 菅原花月さん

団体戦は、鷹巣中・東中・国際情報学院中・一中と対戦し、東中と鷹中には勝つことができました。一中と国情中との決勝戦では、サーブや一つ一つのプレーにミスがなく、私もまねをしたいです。個人戦では鷹巣中の一年生のペアと対戦しましたが、1-4で敗れました。27日には1年生大会があります。できなかった所を完璧にやりたいです。

### 水泳部 伊藤 翼さん

大北の新人戦の50m自由形では自己ベストを更新し全県標準記録を突破して、6位に入賞することができました。100m平泳ぎは標準記録に近づくことができました。全県の新人戦では、100m平泳ぎで自己ベストを出し、100m自由形は標準記録に近づきました。これからシーズンオフになりますが、筋トレをがんばって二中のハードメニューについて行きたいです。

# 一生懸命

～一人一人が最高のパフォーマンスをし、感謝の気持ちを伝えよう～

## 花中祭プログラム

期日：平成26年10月19日(日)  
 時間：9:00～15:00  
 場所：花岡中学校体育館・各教室  
 バザー：12:15～13:25(多少変更あり)  
 軽食コーナー：12:00～13:00  
 (多少変更あり)

# 10/19「最後の花中祭」に おいでください

中学校最大の行事「花中祭」も、いよいよ今年が「最後」、見納めとなります。今年の花中祭テーマは「一生懸命～一人一人が最高のパフォーマンスをし、感謝の気持ちを伝えよう～」です。生徒達は、お世話になってきた保護者の皆様や地域の方々に感謝の気持ちを伝えようと全力で取り組んでいます。どうか最後の「花中祭」をご覧いただき、頑張っている生徒たちを激励して下さいますようお願いいたします。

地域の皆様や卒業生の方々の御来校を心からお待ちしています。

## 学芸発表プログラム 9:00～14:45

### 【午前の部 9:00～】

- 1 あいさつ (学校祭実行副委員長)
- 2 合唱祭 1年生「COSMOS」  
2年生「夏の日のおくりもの」  
3年生「HEIWAの鐘」
- 3 PTA会長あいさつ
- 4 わたしの主張2014
- 5 フラワータイムI 発表
- 6 鳥潟会館ガイドボランティア
- 7 英語暗唱・弁論 発表(3年)
- 8 吹奏楽部 演奏 「LET IT GO」他

### 【午後の部 13:00～】

- 9 校長あいさつ
- 10 花岡小唄
- 11 英語暗唱発表(2年・1年)
- 12 ダンス  
「Rising Sun」「ダブルダッチ」「ソーラン」
- 13 劇 「TENPER BOX」
- 14 花中祭までの軌跡
- 15 全校合唱 「あなたに会えて…」 「校歌」
- 16 あいさつ (学校祭実行委員長)

PTAバザー 12:00～13:00

軽食堂 12:00～13:00

### ダンスチームリーダー 山本玲太郎さん

僕たちは、ダブルダッチとよさこいソーラン、ライジングサンをやります。見所は初めて挑戦する「ダブルダッチ」と「よさこい」です。ダブルダッチは縄を回す人の華麗な縄さばきと、跳ぶ人のしなやかな身のこなし、よさこいはかけ声とともに、全員深く腰をおろし、左右を引っ張るところです。今回は新たな試みが多いですが精一杯がんばるので、皆さんも楽しめると思います。演技が終わった後に大きな拍手をして下さると大変うれしいです。

### 劇チーム 監督 大森芽依さん

今年の劇は某H中学校が舞台です。中学校の「元氣・根氣・勇氣」が邪王によって奪われ、それを取り戻すという設定です。コメディとシリアスが融合している台本なので、持てる力を発揮して、花中最後にふさわしいような、すばらしい劇に仕上げたいです。本格的な準備はこれからですが、協力して準備をしていきたいです。一人一人がそれぞれの経験を生かし、個性豊かな劇をつくりあげたいです。

## お願い

PTAバザーの品物の提供をお願いします。

期間 9月29日(月)～10月18日(土)

- 種類 ①食器や台所用品 } (未使用の物)  
 ②石けん・洗剤類 }  
 ③タオル類 }  
 ④農産物や花など

(18日午後か19日朝にお届けください。)

- ⑤学用品(花中トレパン, 柔道着, 文房具)  
 ⑥手芸品など

方法 ・地域の方が直接もってきてくださる場合は、玄関でインターホンを鳴らして職員に渡してください。

## 鳥潟会館でガイドボランティアに挑戦

花岡中のふるさとキャリア教育のひとつとして、11日・12日の二日間、全校生徒が交替で鳥潟会館のガイドボランティアに取り組みます。夏休みにガイドウォークに参加してガイドのコツを学びました。また今後は実際に鳥潟会館で練習をする予定です。生徒たちは、大館に観光で来られる方に鳥潟会館のすばらしさを伝えたいと張り切っています。保護者の皆様も、生徒たちのガイドで、鳥潟会館を見学してみたいはいかがでしょうか。

## 10月の行事予定

3	金	指定訪問研究会(国英) 保護育成委員あいさつ運動
5	日	国民文化祭
7	火	学校関係者評価委員会
8	水	鳥潟会館ガイド学習会(～9日)
10	金	英語検定
11	土	きりたんぼまつり 鳥潟会館ガイドボランティア ウォーターボールボランティア
12	日	
13	月	体育の日
18	土	花中祭予行(給食なし)
19	日	花中祭(給食なし)
20	月	振替休業日(花中祭予行)
22	水	救急救命講習会
29	水	市教育研究会総合研究会 授業4時間 給食あり
31	金	生徒会役員選挙

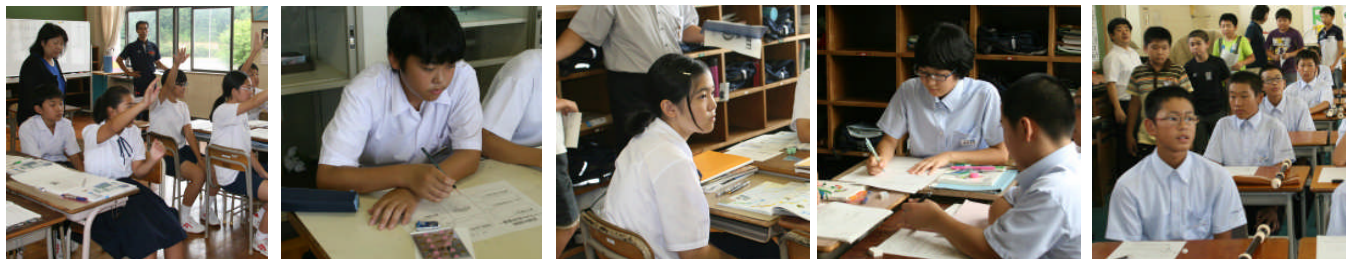
## 9/5 北陽中三校交流会で大活躍

～中学生としてあるべき姿を目指し～

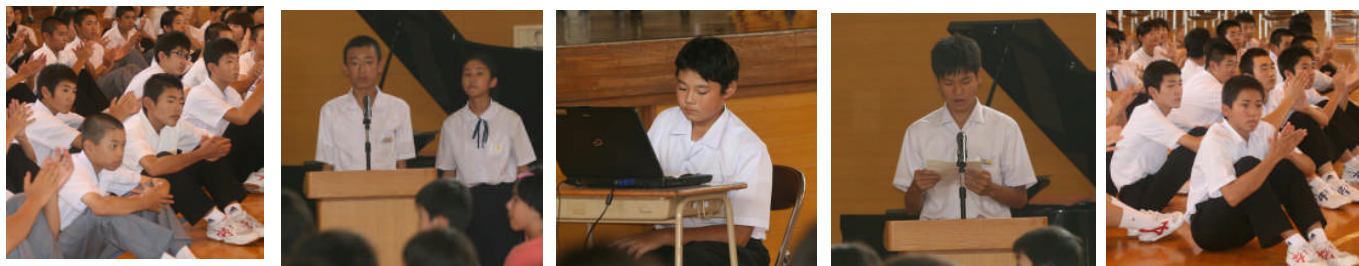
来年度北陽中学校に入学する小学校6年生を対象とした体験入学が、三校交流会という形で行われました。7月の交流会では、自分たちより積極的に活発な中学生の授業態度にとっても刺激を受け、自分たちもあのようになりたいと考えた生徒たち。1年生は事前に学習の約束を学級で話し合っ

て臨みました。今回は小学生が見ている中であっても、自分の考えを発表しようと挙手をしたり、友だちの発言に素早く反応したりするなど、前向きな様子がたくさん見られました。また6年生との交流会では、北陽中の部活動説明を担当した2年生の執行部員・中央委員が、活動の様子をスクリーンに映しながら、クイズを交えテンポ良く小学生に説明できました。

これなら北陽中にももっともしっかりやっていると、手応えを感じた交流会でした。



積極的な態度で臨んだ授業



堂々とした見事な発表

# おめでとう

## 大館北秋田英語弁論・暗唱大会(9月5日)

### EXCELLENT 賞

#### 【暗唱の部】

1年 伊藤 翼さん 木村将名さん 菅原花月さん  
成田 絢音さん 三浦瑞紀さん  
"Smile ! Smile ! Smile !"

### VERYGOOD 賞

#### 【弁論の部】

3年 藤垣龍太郎さん "Amerikan Pop Music with Me"  
菅原二千花さん "My Hometown"

#### 【暗唱の部】

3年 畠澤慎也さん "I Have a Dream"  
2年 浪岡龍太郎さん "Visas for 6,000 Lives"  
藤盛建都さん "Try to Be the Only One"



エクセレント賞の  
1年生のみなさん

大会に参加した生徒たちは、花中祭で発表します。練習の成果をお聞かせください。

## わたしの主張2014 大館地区大会

### 優良賞

3年 鳥潟優歩さん「野球人生」  
三浦環菜さん「最後を締めくくるために」

鳥潟優歩さんは大館市代表の一人として県北大会に出場しました。原稿を次のページに掲載しています。ご一読ください。花中祭では二人が発表します。どうぞ楽しみに。



表彰に来られた市民会議小林会長と

優良賞 「野球人生」

鳥潟 優歩



それは9人で行うスポーツです。それは打ったり、投げたりします。それは4つの四角いベースというものを使います。スポーツは行ううえで必ず喜びや怒り、悲しみなどのさまざまな感情を抱くこととなります。白黒はっきりつくことで勝者と敗者が必ず決まってしまう。だから時々、僕はスポーツをすることが嫌になってしまいます。

野球を始めたのは小学4年生からです。僕が通っていた花岡小学校の野球部は強くもなく、どちらかといえば弱かったですが、野球が好きで入部しました。最初は下手でしたが、日を追うごとに上手になっていくのを実感しました。小学校での思い出といえば、公式戦での初勝利です。4年生になって1ヶ月ぐらいの大会で今までファーストを守っていました。ですがその大会では、ピッチャーをしました。初登板初先発でしたが、味方の得点も多く、勝つことができました。あの時の初勝利は今でも細かく覚えています。

中学生になって野球部に入部しましたが、「初」の体験が多かったです。2年生の頃に3年生が引退した後、初めて合同チームになりました。上小阿仁中学校との合同チームは合計15人のチームでした。練習を一緒にできる日が少なかったが、レギュラー争いに燃えていました。初めての「ショート」というポジションでの争いで良い刺激を受け、練習にも力が入っていました。今考えると良い体験をさせてもらったと思います。この時はまだキャプテンではありませんでしたが、冬にキャプテンになることになりました。前のキャプテンは生徒会の仕事が忙しいということで僕になりました。先輩たちの代からもともと真面目な野球部というより、「元気」な野球部でした。とらえようによって印象は変わりますが、たびたび元気すぎるのがあったので正直困っていました。この機会にこれまでの花中野球部とは違う「新生花中野球部」を作りたいと心の中で目標として頑張ることにしました。

3年生になってからは、守備練習を徹底しました。練習試合では、大会までの間1勝もできませんでした。打撃に問題はありませんでした。守備での平均失点が5点を超えていました。そのため勝利に結びつきませんでした。大北総体の1週間前は、ピリピリとした雰囲気ではなかったものの、緊張感があるよい練習をすることができました。今年の大北総体は花中最後で新聞にも取り上げられていました。地元の期待が大きく、大会には多くの観客が訪れました。本番では序盤に追いつかれそうになりましたが、何とか振り切り、6対2で勝つことができました。ピッチャー陣は調子がよかったです。それに打撃も上位打線で6安打を打ち、「最初で最後の貴重な1勝」をすることができました。次の試合は惜しくも負けてしまいましたが、あの1勝が花中の大北での久しぶりの1勝で、先生達や地元の人たちも大いに喜んでくれました。あの1勝を今でも誇りに感じています。

現在は、受検生として学校で勉強を頑張っています。しかし、グラウンドから聞こえてくる野球部のランニングの声や「ナイスキャッチ」、「ナイスボール」という声を聞くとまた野球をやりたいってなってきます。高校に入ったとしても野球をやる予定はありません。でも、野球から学んだ向上心やあきらめない気持ち、何よりも仲間と協力する心は、他のスポーツやスポーツ以外のことでも大切と言えます。キャプテンとしてみんなをまとめてきたことは、今後の学校生活や社会生活の中で生かされるでしょう。特にリーダーとしての立場や心構えを学べたと考えています。6年間野球をやってきた野球人として、感謝と別れを込めて最後に一言、言いたいです。「さらば野球、そしてありがとう。」

※ 三浦環菜さんの原稿は、次号の「大山」でお届けします。

開校記念誌「花中メモリアル」 まもなく完成！！

平成24年度から総合的な学習の時間に生徒たちが作り始めた、花岡中学校の開校記念誌「花中メモリアル」が、まもなく完成します。

様々な資料から情報を集め、写真を選び、パソコンで文章や名簿を打ち込むなどの作業に取り組んできました。開校からの中学校の歩み、花岡の街の様子や小坂鉄道花岡線の様子などが取り上げられています。まさに生徒たち手による「開校記念誌」です。

前年度まで制作に携わっていた平成24・25年度の卒業生の皆さんには、完成後にお届けします。

記念誌の見本を花中祭で展示致しますので、当日ご覧になり、希望があれば注文を受け付けます。(表紙代などで500円の予定です。)



わたしの主張二〇一四 大館大会 優秀賞

## 「最後を締めくくるために」

三浦 環菜

花岡中学校、全校生徒四十二人。他の学校よりもとても少ない。そのため平成二十七年に大館第二中学校、矢立中学校と統合し、北陽中学校となる。そして、この花岡中学校は平成二十六年に閉校する。私達三年生は、花岡中学校最後の卒業生となる。最後の卒業生としては、とても重要な役割で花岡中学校が閉校するということは長い歴史が幕を閉じるというとても悲しいことだ。そんな中で、最後の卒業生としてわたしたち三年生は、どんなことを思い、最後の花岡中学校をどうすれば最高の学年にできるかを考えながら、過ごしてきた。私は、花岡中学校の生徒会副会長を務めている。生徒会全体をまとめていくためのトップ機関として執行部がある。その中で、生徒会長や事務局長、事務局員と一緒に学校全体をまとめ、閉校に向けていろいろな行事の企画・運営を行っている。執行部では、一つ一つの行事が最後になるので、何事にも一生懸命取り組むということから、生徒会のスローガンは「一生懸命」となった。そのために、一つ一つの行事を大切にして一生懸命取り組み、地域の人へ感動を伝えたいと私は思った。まず最初に、地域の人への感謝の気持ちを込めて、今年四月から花岡中学校の前にある花岡川のクリーンアップを月一回行うことにした。大量のゴミがあり、短い時間でたくさんゴミを拾った。クリーンアップは月一回ではあるが、川がきれいになることによって地域の環境もよくなる。そのため、地域に恩返しができるのではないかと思う。クリーンアップで川がきれいになっ



て、運動会を迎えた。最後の運動会は、満天の青空の下、赤白組が熱戦を繰り広げた。地域の方々が参加できる宝探しや最後の運動会ということで先生方が生徒会種目の「アメ食い競争」や応援でのダンスにも参加した。見ている人も楽しく、最後の運動会は大成功と終わった。

次は大北総体。激励会で、先生達から激励があり、驚いたがみんなの励みになった。私はバスケットで選手宣誓をした。試合前には学校の校歌を熱唱して試合に挑んだが、一回戦で敗退してしまった。だが、思い出に残る試合だった。最後の花岡中学校の名前にふさわしくみんなが試合に全力で挑み、終わることができたと思っている。次々と行事がある中で、常時活動も欠かせない。それは、毎朝行っているあいさつ運動。全校生徒のあいさつを良くするために、昨年度あいさつ運動のやり方を受け継ぎ、改善などをした。まず、他の中学校と共にあいさつ運動を行い、他の中学校はどんなあいさつをしているかを学び、花中の欠けている部分についてみんなで話し合った。その結果、あいさつスタンダードが作られた。それは「相手の顔を見て、自分から、明るく元気な声であいさつする。」というものである。あいさつスタンダードを掲げ、あいさつについての姿を具体的に改善したことでみんなのあいさつが良くなった。これは一例である。この他にも様々な改善してきた。

平成二十六年度も半分が終わろうとしている。花中祭では、学校全体が協力しながら、練習に一生懸命取り組み、大成功に収めたい。閉校式では、地域の人も参加する。この場で地域の人への感謝の気持ちで合唱や言葉で表現していきたいと強く思う。この花岡中学校の校舎で過ごす時間は残り少ないが、花岡中学校最後を締めくくるために、一生懸命に取り組み、感動を与えていきたい。そして、先生や生徒だけでなく、地域のみなさん、卒業生に見守られながら閉校を迎えられるように、私が今できることを精一杯頑張っていこうと心に誓っている。少しでも地域に恩返しができるように。

